

レガッタレポート

2012年8月30日

報告者 山岡 閃

大会概要・プロテスト委員会

大会名	第3回テクノ293クラス全日本選手権 第7回ジュニアユースウインドサーフィン選手権		
日程	2012年8月24日(金)~26日(日)	開催地	御前崎市・マリンパーク御前崎
主催団体	(テクノ) 日本ウインドサーフィン連盟(WFJ) (ジュニア) 日本ウインドサーフィン連盟/ NPO 法人日本プロウインドサーファー協会/ 全日本実業団ボードセイリング連盟/ ジュニアウインドサーフィン選手権実行委員会		
艇種	テクノ293 クラス (Techno 293)ほか	カテゴリー	C
レースの種類	国際大会 全日本大会 地区(水域)大会 その他()		
プロテスト委員長	山岡 閃		
プロテスト委員 (ジャッジ資格)	山岡 閃(NJ/A)・落合正巳(NJ/A)・宮野 幹弘		
プロテスト事務局			
ジュリーボート	有・ 無	備考(隻数等)	1
ジュリー用トランシーバー	有・無	備考(タイプ等)	VHF

費用

交通費	主催者負担・ 一部負担()円 ・ 全額自己負担()円 ・ その他()		
宿泊費	主催者負担・ 一部負担()円 ・ 全額自己負担()円 ・ その他()		
食費	主催者負担・ 一部負担()円 ・ 全額自己負担()円 ・ その他()		
支給品			

レース委員会の評価

レース委員長氏名	宮崎 景氏	資格	NRO
レース運営について (レース運営評価)	<p>1. 2010年8月シンガポールで開催された第1回および2014年中国・南京で第2回の開催が決定したYOG(Youth Olympic Game)のセーリング競技(2種目)の艇種として、バイトCIIクラス(シングルハンド艇)とともに選択されたウインドサーフィンである「テクノ293クラス全日本選手権」で、本年が第3回の大会であった。 また昨年までは別個に開催されていた「U17&U15全日本選手権(第2回)」も同時開催となり、文字通りテクノ293クラスのオールジャパン大会となった。</p> <p>2. 加えて本年で第7回を迎える「ジュニアユースウインドサーフィン選手権」も併催され、総選手数が122名となるビック・イベントとなった。</p> <p>3. レース会場は御前崎市マリンパーク御前崎内にあるウインドサーフィン、ボディボード専用のビーチ。砂浜の正面には遠州灘、太平洋が開け、右手には海水浴場と巨大な風力発電用の風車が設置されたパーク施設の中にある。背面には小高い丘陵がありそこからはレース海面が一望でき、まさに風光とレース観戦が同時に楽しめる類い希な美しいシチュエーションである。 このため会場には地元関係団体、スポンサー各社をはじめ多くの一般市民、アマチュアカメラマンが詰め掛け、また通常のヨットレースでは見かけないウインドサー</p>		

フィン特有のアナウンサーによるレース実況と相まって、選手、観客が一体で楽しめる雰囲気イベントであった。

4. 参加艇数： 122艇

テクノ293 76艇(オープン49艇、U17 15艇、U15 12艇)

ユースジュニア 46艇 (アップウインド 6艇、ユースジュニア 40艇)

5. シリーズは、3日間を予定、ディヴィジョン毎にレース数が設定された。

テクノ293およびアップウインドのコースは風上/風下コース、ジュニアユースのコースはアビームコースとした。

6. 1日目：今大会ではテクノ293クラス(アップウインドを含む)は3日間、ジュニアユースは2日間の日程であった。

初日はテクノ293のみのレースとなり、風上/風下コースで予定通り3レースを完了。風速は2m~3mと少々物足りない風であったが、接近中の台風の影響から波のうねりが大きく、一波の向こう側の艇が見えなくなる波高の中でのレースとなった。レース終了後、数名の参加選手と話す機会があったが、特に日頃波の少ない琵琶湖、西宮勢からは「あの波をどう乗りこなすかが(特にパンピング)よく分からず、全く勝手が違った」との感想があった。

それにしてもさすが太平洋ならではの波と澄み切ったブルーの海、これに波を乗りこなす技術が加われば、まさにサーフィン冥利に尽きる素晴らしい環境であった。

7. 2日目：ジュニアユースの選手も到着し、後援団体である日本財団/御前崎市/御前崎市観光協会/御前崎市教育委員会等から多数の来賓を迎え、開会式が実施された。

開会式のあと、この大会がテクノ293とジュニアユースが併催され、2海面を使用してレースをすることから、レース委員会による入念なスキッパーズ・ミーティングが実施された。

昨日に続く台風の影響から、先にテクノ293の2レースが実施され(風速は3m強)、午後になってジュニアユースの小学生高学年、中学生クラスが1レースのみ実施された。

2海面を使用し、かつダブル・エントリーもある複雑な大会を的確にコントロールしたレース委員会および地元レース委員の手腕は見事としか云いようがない。

8. ウェルカム・パーティー

2日目の夜、マリパークに隣接する御前崎なぶら市場(「なぶら」とは、かつおの群れの意味)において、ウェルカム・パーティーが実施された。選手は元より、運営スタッフ、ジュニアイベントらしい保護者父兄、地元のボランティアが一堂に会し、和気あいあいの内に催された。

パーティーのハイライトはなんと言っても地元御前崎サーファー・チームの諸嬢が演じたパフォーマンス。昨年と比べ一段と進化し、今年はラメ入りの黒色の衣裳で揃え「アクロバット・ショー」を披露、参加者からはヤンヤの喝采であった。第二部はヨットレースでは珍しい「マジック・ショー」もあり、ジュニアユースの選手を主役においた趣向は、まさに市民レガッタを象徴するものであった。

9. 3日目：昨日以上に波がきつく、また専用ビーチを取り囲む形のテトラ群に打ち寄せる波が激しく、レース委員会の苦渋の判断のもとテクノ293についてはレースを中止、昨日までの成績で最終順位が決定した。

優勝は小嶺恵美選手(大垣共立銀行)が昨年に続き二連覇、第1回の三石真衣選手を合わせ3回連続で女性チャンピオンとなった。風が弱かったとはいえ、男性選手には奮起を促したいものである。

また昨日実施できなかったジュニアユースの小学生低学年、中学年クラスについ

	<p>でも1レースが実施できた。予定レース数が完了できなかったのは残念であるが、これで全ディヴィジョンの成績が確定予定された。</p> <p>10. 結論的には、テクノ296クラス全日本選手権およびジュニアユースウインドサーフィン選手権は大成功であったと言える。その最たる要因は本年で7回を迎えるジュニアユース選手権を主催してきた地元ウインドサーフィン関係者の尽力と、ウインドサーフィンのワンデザインクラスとしてテクノ293をいち早く選択した日本ウインドサーフィン連盟の牽引力であろう。</p> <p>また大会は御前崎市を初め地元関係団体挙げての物心両面からの強力なバックアップと、メインスポンサーを初めとする多くの地元企業の協賛があったことも記しておかなければならない。このように行政、市民、企業、選手、セーリングファンが一体となった大会は大切に守っていかねばならない。</p> <p>11. 日本セーリング連盟からは、日本ウインドサーフィン連盟会長(佐藤孝氏)、理事長(石原智央氏)、競技委員長(宮崎景氏)、JSAFオリンピック特別委員(宮野幹弘氏)と総スタッフが駆けつけ、地元の多くのサーファーとボランティアが全面的な運営に当たる、日本選手権にふさわしい権威ある大会となった。日本セーリング連盟がオリンピック・ウインドサーフィン競技の育成ボードとして強化を進めているテクノ293クラスの今後の発展を願って止まない。</p> <p>日本ウインドサーフィン連盟ウェブサイト:www.wf-j.org 日本プロウインドサーフィン協会ウェブサイト:www.jpwa.ihfo</p>

計測委員会 (計測部)

計測委員長	島 浩二氏	公認計測員	1名
計測証明書の確認	有 ・ 無		
計測の実施	有 ・ 無	艇体・重量・スパー・セール・その他 ()	
特記事項			

クラス別 参加艇数及び人数

クラス	艇数	人数	クラス	艇数	人数
Techno 293	76	76			
その他	46	46			
合計				122	122

RRS 4 2 関連適用規則

RRS 6 7 適用	有・無
付則 P 適用	有・無

付則 P 適用の場合		
1回目ペナルティー履行艇数	0	艇
2回目ペナルティー履行艇数	0	艇
3回目ペナルティー履行艇数	0	艇
ペナルティー履行艇 合計	0	艇

RRS 4 2 違反行為

違反条項	件数
42.1 原則	0
42.2(a)パンピング	0
42.2(b)ロッキング	0
42.2(c)ウーチング	0
42.2(d)スカリング	0
42.2(e)反復のタック・ジャイブ	0
合計	0

抗議及び救済の要求件数

	件数	打ち切り	審問	却下	DSQ/DN	特筆すべきケース
艇 対 艇	0					
R C 対 艇	0					
P C 対 艇	0					

救済の要求	0					
その他	0					
審問時間						

プロテスト委員・事務局員等 出席表

氏名	資格	24日	25日	26日			備考
山岡 閃	NJ/A	○	○	○			
落合 正巳	NJ/A	○	○	○			
宮野 幹弘		○	○	○			

特記事項（プロテスト委員会全般のコメント等）

インシデントおよび抗議はなかった。

[添付書類]

- ・レース公示
- ・~~帆走指示書~~
- ・成績表
- ・~~その他の指示書~~
- ・~~抗議書（救済の要求書等を含む）~~
- ・~~その他（ ）~~